



# 医療法人社団順心会 関西総合リハニュース

今年度より中谷正史校長が第2代校長に就任され、平成23年度入学式での式辞で「学生基本方針」を定められました。



## 「学生の実践基本方針」

— 入学式式辞より —

学校長 中谷正史

その第一番目は接遇を実践することです。「接遇」とは相手に対するもてなしの心、セラピストにとっては患者さまにどのように接すればいいのかわかるのか、という事です。そのためには、まず見だしなみを整えて笑顔を実践して下さい。医療人にふさわしい清潔な白いユニホームを身に着け、そして毎日鏡で笑顔を作ることを意識してみてください。

鏡に映る自分の顔を「良い顔」だと言い聞かせて自信を持って下さい。

また学校で定められたルールは守らなければいけません。時間を厳守し、授業等の場合は始業10分前には席につくようにして下さい。

第二番目は「人とのかつがりの強化」です。一昨年あたりから時代背景も相まってか既卒入学者、社会人入学者の比率が大幅に増加しました。さまざま

な社会経験を積んだ入学生も多く年齢もさまざまです。そういう学生達からは学ぶものがあるはず。入学後はクラスメイトだけではなく先輩や他学科の学生とも積極的に交流を深め友人を多く作って人間性を高めてください。

また、本校では、交流の輪を広げるために自治会活動を奨励しています。クラブ活動や、ボランティア活動などの社会活動にも積極的に参加して、人と出会い、語り、助け合う事を学んでください。

そして、人の悩みや、痛みを受け止められる人間へと成長し自己形成していただきたいと願っています。

以上のことが、やがて実習や臨床に非常に役立ちます。

本校はこの10年間で島田前校長の下、教職員と共に教育方針の礎は確立いたしました。また、運営法は医療法人順心会栗原理事長の指導の下、磐石の財政基盤で確立しております。

皆様は、患者様から愛される有能なセラピストを目指してください。

## 名誉校長に就任して

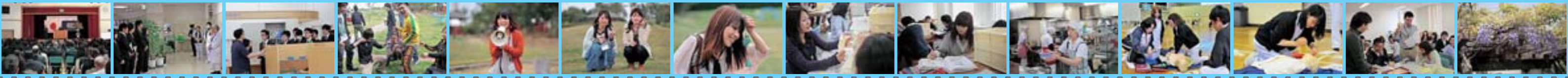
名誉校長 島田桂吉

本校は開校して11年目を迎えました。送り出した卒業生は関西地域に止まらず、都会、地域の分けなく各地の病院や医療施設で活躍し、地域住民のリハビリテーション医療の向上に真摯に携わっています。また、母校の臨床実習生を指導者として支援してくれる卒業生も少なからず出てきており、嬉しい限りで胸を打たれています。

本年4月1日より中谷正史校長をお迎えし、本校は新たな発展期に入りました。新校長のもと、教育環境を一層充実させる方針に沿って、講義、入試への関与等を通じて役割を果たしていく所存です。







## 新入生宿泊研修に参加して

作業療法学科1年 堂 東 彩 乃  
(福知山女子高等学校卒)

宿泊研修に参加して、同じ夢を持つ仲間と協力することで、私たちがこれからセラピストになる上で大切な、挨拶、周りへの気配りや、相手を思いやる気持ちの重要性を感じることができました。



また、今まで自分が家族や周りの環境に甘えていたことに気づかされました。自分で考えてひとつひとつの事を責任を持ってやり遂げる事は、これからとても重要になると思います。この宿泊研修で感じた、友達や家族の大切さ、挨拶、相手を思いやる気持ちなどを大切に、クラスメイトや同じ

夢を持っている仲間と協力し、励まし合いながら充実した学校生活を送りたいです。

悔いの残らないよう、何事にも一生懸命、明るく元気に頑張っていきたいです。



## ケーシー着衣式

理学療法学科1年 鷲 海 直 人  
(兵庫県立高砂高等学校卒)

11期生の着衣式が5月26日におこなわれました。初めてケーシーにそでを通して、少し違和感を感じましたが、ケーシーを着たことによって、KRCの一員になれた気がしました。これからPTになるための知識や技術の習得に励んで、着衣時の初心と志を忘れず3年間しっかり学びたいと思います。



## 部活動紹介

### 【軽音楽部】

部 長 原 田 祥 司  
(理学療法学科2年  
徳島県立板野高等学校卒)

軽音楽部は毎週火曜、金曜日の18:00～19:30までの1時間半、本校の講堂にて活動しています。

今年は、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科のすべてから入部があり、大人数で楽しく活動しています。主な活動目的として、後期の初めにある文化祭でのバンド演奏を目標に、部員全員で、来て頂いた方々におもしろく、楽しい1日になって頂き、そのための試行錯誤の中で、学科間、学年間を越えた仲間づくりを目的としています。

初心者、経験者、楽器の種類問わず、「仲間づくりをしたい」、「授業の息抜きに」、「音楽に関わりたい」と思われる方は、ぜひお気軽に軽音楽部へお越しください。



## キャンパスレポート

### 【新任教員挨拶】

言語聴覚学科 専任教員 菱 池 衣 里 子

はじめまして。4月より、専任教員として着任した菱池衣里子です。



私は第1期卒業生で、7年間の臨床経験を経て、今回縁があって母校で再びお世話になることになりました。STの仕事は、「楽しさ」と「厳しさ」が共存する場ですが、臨床経験で学んだSTとしてのやりがいや魅力を学生さんに伝えていきたいと思っています。教員としてはまだまだ未熟ですが、学生の視線で、何が分からないのか、何を学びたいのかを考えながら、学生さんと共に勉強し、更に知識や技術を深めていきたいと思っています。

### 【現場レポート】

順心会リハビリテーション部では、京都大学大学院医学研究科の理学療法士の先生方による勉強会が実施されています。現在は、人間健康科系専攻 池添冬芽先生による「高齢者に対する運動機能評価」について講義をして頂いており、毎回、各施設のセラピストが大勢参加しています。技術や知識の向上に加え、日頃の臨床での問題点や疑問点の解決にもつながり、大変、勉強になっています。このように、順心会では、地域社会の要求に応じて、さらに良質のリハビリサービスの提供ができるように、スタッフ一同、研鑽を積んでいきたいと思っています。

理学療法学科 専任教員 水 谷 貴 佐



### 【3年生 臨床実習を終えて】

言語聴覚学科3年 片 岡 満  
(徳島県立阿波高等学校卒)



初めての長期臨床実習、不安をたくさん抱えてのスタートでした。知識の無さや経験の無さを痛感し、いくら一生懸命であっても本当に患者様のために何か出来ているのか…と悩むことが多くありました。そんな中、患者様は未熟で拙い私に、何度も「ありがとう。」と言って下さるのです。目に見えない分野にアプローチする言語聴覚にとって、患者様が心を開いて下さることは本当に大きな喜びでした。患者様の立場から深く関わることが出来る言語聴覚士を目指したいと改めて強く思いました。

## 特別公開講座

「100歳になっても歩くことのできる自分を目指して！」

日時：平成23年8月21日(日)  
13:00～14:00 (受付開始 12:30～)

講師：柳本 有 二 教授 神戸常盤大学保健科学部看護学科

会場：関西総合リハビリテーション専門学校講堂  
定員：100名 (事前予約が必要です)

## 学生自治会より



本校の自治会は、各学科2年生の6名で活動しています。

主な活動は、10月に行われる学祭、球技大会の準備、企画運営や各クラブ活動のサポートなどです。

自治会が中心となって行事を進めていきますが、自治会役員だけでは難しいこともあり、皆様の協力と理解があってこそ成り立つのだと思います。

皆様が楽しく有意義な学生生活を過ごせるよう、私たちができることは、一生懸命頑張っていこうと考えていますので、ご協力宜しくお願い致します。



会 長 水田 有 樹 (理学療法学科・明石市立明石商業高等学校卒)  
副会長 福井 敬 (言語聴覚学科・滋賀県立大津高等学校卒)  
会 計 下山 由 希 (理学療法学科・岡山県立津山商業高等学校卒)  
" 段 彩 乃 (作業療法学科・兵庫県立浜坂高等学校卒)  
書 記 中谷 能 之 (作業療法学科・兵庫県立津名高等学校卒)  
" 西村 洋 亮 (言語聴覚学科・柳 学 園 高 等 学 校 卒)

### 【園芸部】

園芸部は本年度で3周年を迎える部です。

昨年度は藤棚再生プロジェクトも行い、畑での野菜の収穫だけではなく当校や淡路市に貢献できるプロジェクトも続けていく予定です。

本年度は食堂横でのグリーンカーテンプロジェクトとしてゴーヤ等を栽培しています。休憩等に使用されるこの場所で熱中症等にならないような対策の一環として行っています。

本年度も多くの新入部員を迎えられ大変うれしいです。まだまだ募集しています。楽しみながら一緒に野菜等を栽培してみませんか？

作業療法学科教員 園芸部顧問 河 田 哲 也







## 地域との関わり

# いきいき100歳体操（北淡地区モデル事業）に関わって

昨年度、淡路市では高齢者の健康づくり、介護予防として「いきいき100歳体操」を実施しています。今回の北淡地区は淡路市で4か所目のモデル事業であり、3か月間の実施、週1回、午後13時から15時まで、50名程度の参加者がおられます。淡路市ではこの体操を地域に広めて、1人でも多くの元気な方の機能向上と、介護保険を利用することなく、元気に生活を続けていけることが目的です。平成23年6月現在で30か所以上の地域展開が行なわれています。今回この事業には、体操の説明や身体機能面の評価に関わらせて頂くこととなり、6月15日に作業療法学科2年生とともに参加者の評価を行ないました。今後も中間評価、最終評価を行ない身体機能面の維持、向上できていることと、体操が継続できることに期待しています。学生も学校で評価の練習し、地域高齢者と触れ合う機会ができ、病院・施設で出会う方々と違うことにも気づき良い経験になったようです。今後も、地域との連携が図れるような関わりが重要であると感じました。

作業療法学科 専任教員 富本 紘之



## 学生支援センターより

平成23年度がスタートしてはや3カ月が経ちました。学生の皆さんには環境や授業内容の変化があり、慣れてきた半面心配事等ができて始める時期でもあると思います。この1年間、学生の皆さんが充実した学生生活を過ごせるよう、少しでも手助けが出来ればと思っています。「相談」は解決の第一歩になるはず。何か心配事や困っていることがあるとき、学校への質問や疑問・要望があるときは、意見箱、メール等をぜひお気軽にご利用ください。



## 図書だより

皆様こんにちは。KRC図書室担当の松本です。

1年生も真っ白なケーシーを着て、勉強に励んでいる様子です。もう学校生活にも慣れたでしょうか？

さっそく、晩遅くまで図書室で勉強している1年生もいらっしゃいます。そんな姿を見ると、心から応援したくなるんですよ！

図書室は、他学科や他学年の学生との交流の場にもなっています。時には、卒業生が顔を出すことも。先輩たちからいい情報が得られるかもしれませんね。



人にやさしい人になる

KRC

検索

関西総合リハビリテーション専門学校

〒656-2132  
兵庫県淡路市志筑新島7番4  
TEL.0799-60-3600  
FAX.0799-60-3610  
E-mail krc@junshin.or.jp



<http://www.krc-net.jp/>

## 編集後記

今年度から津名病院院長を第2代校長としてお迎えし、巻頭にもあるように接遇実践を最重要項目とし、規律に厳しい養成校ということ最大の特色としてこれから厳しくなることが予想される就職戦線に勝ち残る為の教育を職員全員で取り組んで参ります。